

外部データラツパによる PostgreSQLの拡張

株式会社メトロシステムズ
花田茂



外部データラッパの概要

- 外部データラッパとは？
- 外部データラッパの実例

外部データアクセスの流れ

- 外部データラッパに関わるオブジェクト
- 外部データへのアクセス

外部データラッパの作成

- 外部データラッパに必要なもの
- 外部データラッパ作成のTips

PostgreSQL 9.2に向けて

- 追加された機能や提案中の機能

氏名 : 花田 茂

所属 : 株式会社メトロシステムズ

メール : shigeru.hanada@gmail.com

twitter : @s87

ブログ : <http://d.hatena.ne.jp/s87/>

外部データラッパの概要

- 外部データラッパとは？
- 外部データラッパの実例

外部データアクセスの流れ

- 外部データラッパに関わるオブジェクト
- 外部データへのアクセス

外部データラッパの作成

- 外部データラッパに必要なもの
- 外部データラッパ作成のTips

PostgreSQL 9.2に向けて

- 追加された機能や提案中の機能

PostgreSQLにいくつかある 機能拡張の仕組みのひとつ

● PostgreSQLに備わった機能拡張の仕組み

	概要	PostgreSQLに含まれる同種のもの
関数	SQLから呼び出す関数を追加	pg_sleep()、dblink_query()など
演算子	データ型に応じた演算子を追加	幾何演算など
データ型	業務データを表現するデータ型を追加	IPアドレス型、幾何型、XML型など
インデックス	データ特性に適したインデックスを追加	GIN、GiSTなど
手続き言語	関数を実装する新しい言語を追加	PL/Perl、PL/pgSQLなど
フック関数	PostgreSQLの一部の処理に割り込み、独自の処理を追加/置換	auto_explainでの自動EXPLAIN実行処理の追加など
外部データラッパ	外部データを通常の表と同様に検索できる	CSVファイルなどを読み込むfile_fdw

PostgreSQLの外部にあるデータに 普通のSELECT文で

アクセスするためのしくみ

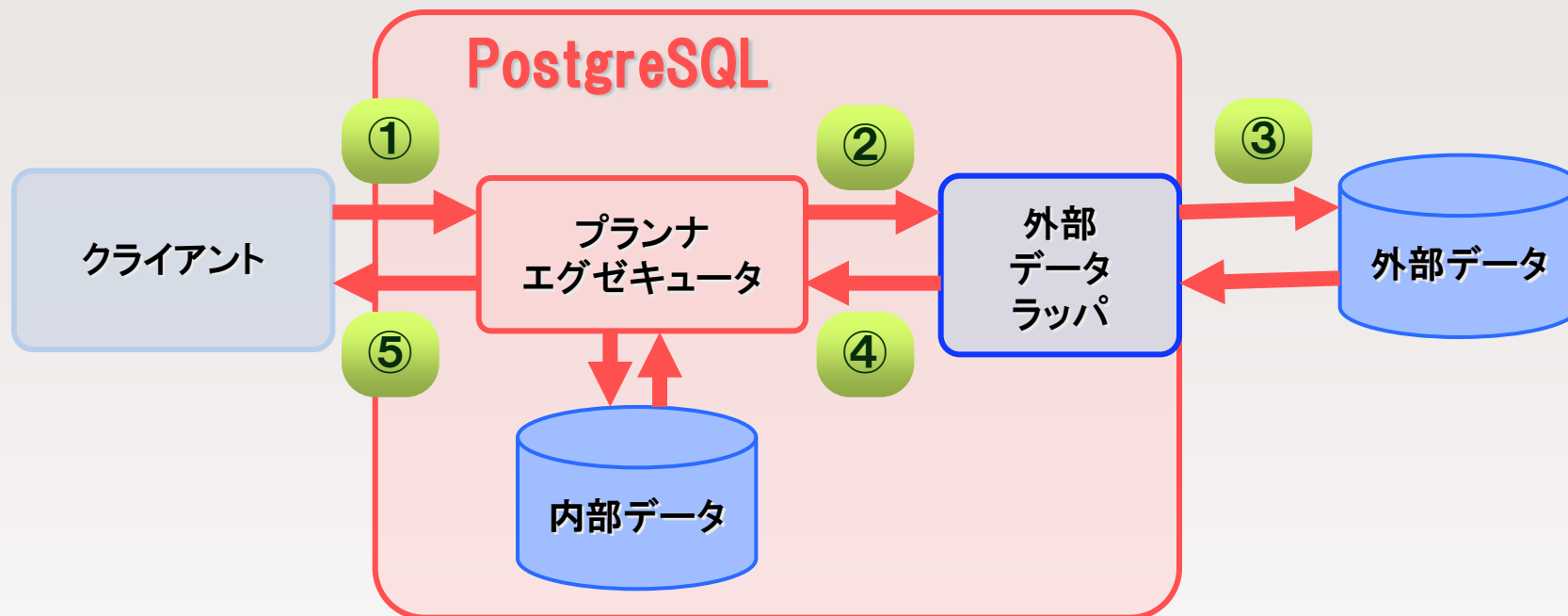
```
postgres=# SELECT * FROM ex_users WHERE id = 1;
```

id	name	birthday
1	foo	2001-01-01

(1 row)

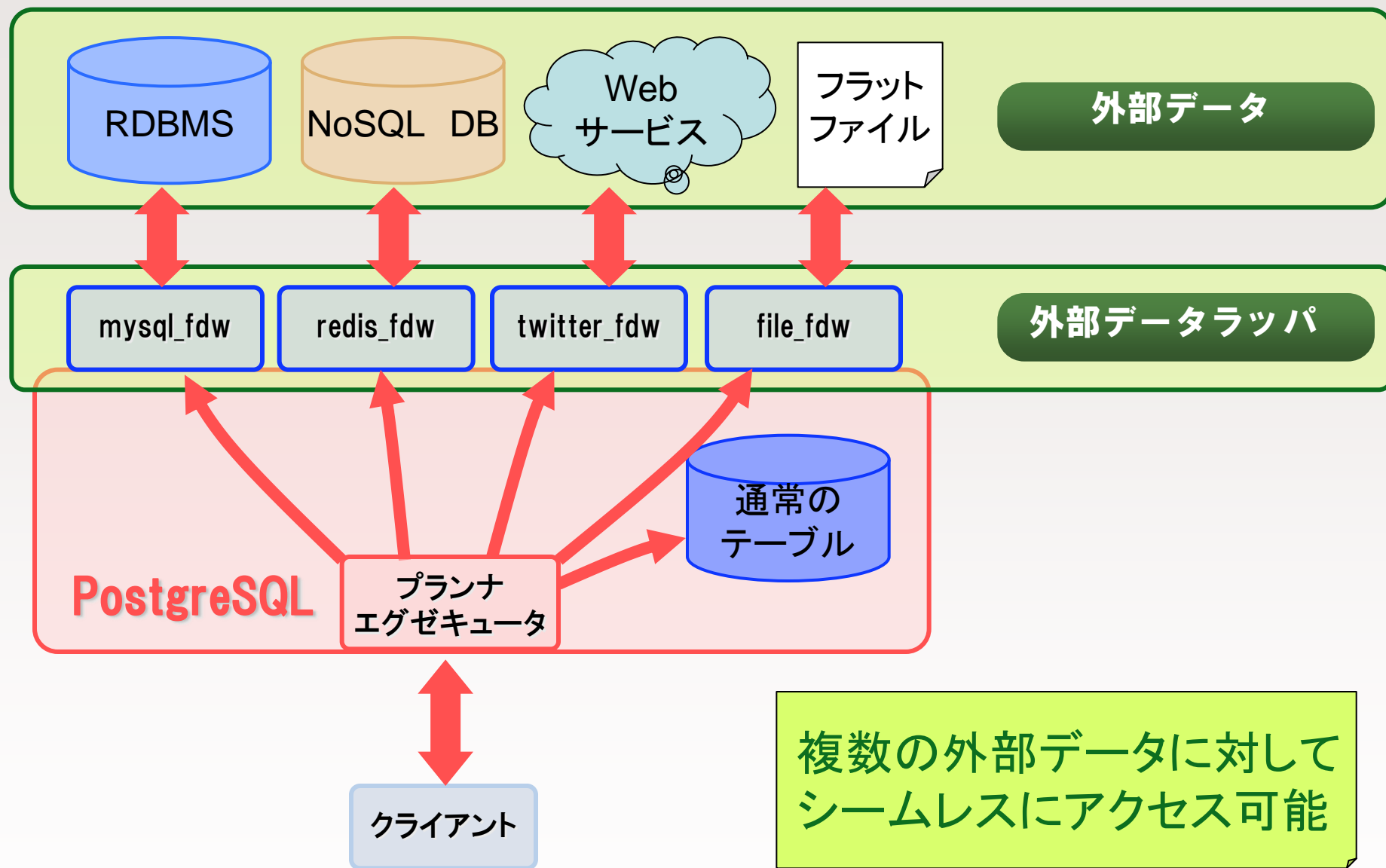
普通の表に見えるが
実は外部にあるデータ

● 標準SQLの一部であるSQL/MED規格に準拠



- ① クライアントがSELECT文を発行
- ② FROM句のテーブルに応じて外部データラッパに検索処理を委譲
- ③ FDWが検索内容に応じて外部データを取得
- ④ 読み取った結果をPostgreSQLの内部表現に変換して返却
- ⑤ クライアントに結果を返却

情報ハブとしてのPostgreSQL



mysql_fdw

- MySQLのテーブルにアクセス
- pgsnake(Dave Page)氏がPGXNIにおいてEXTENSIONとして公開
- PostgreSQLからC言語ライブラリ経由でMySQLサーバにアクセス
- 他のRDBMSにあるデータをPostgreSQLでのSQL文で参照可能


使用例

```
-- MySQL にあるテーブルを検索
postgres=# select id, name FROM mysql_user;
 id |  name
-----+-----
  1 | PostgreSQL
  2 | MySQL
  3 | Firebird
(3 rows)

postgres=#
```

```
-- MySQL 側での実行結果
mysql> select * From user;
+-----+-----+
| id  | name  |
+-----+-----+
|  1  | PostgreSQL |
|  2  | MySQL   |
|  3  | Firebird |
+-----+-----+
3 rows in set (0.00 sec)

mysql>
```



MySQLのデータが
PostgreSQLの検索結果に

redis_fdw

- Key-ValueストアであるRedisにアクセス
- pgsnake(Dave Page)氏がPGXNIにおいてEXTENSIONとして公開
- PostgreSQLからRedisサーバにアクセス
- NoSQL DBにあるデータをPostgreSQLでのSQL文で参照可能

使用例

```
-- Redis に格納されたデータから key が 1~3 のものを検索
postgres=# select * from redis WHERE key BETWEEN '1' AND '3' ORDER BY key;
NOTICE: Got qual key = 1
NOTICE: Got qual key = 3
 key | value
-----+-----
  1  | PostgreSQL
  2  | MySQL
  3  | Firebird
(3 行)

postgres=#
```

Redisからは不定順で返却されるので、PostgreSQL側でソートしている

twitter_fdw

- Twitterのつぶやきを条件指定で検索
- umitanuki氏がPGXNにおいてEXTENSIONとして公開
- PostgreSQLからcurl+twitter API経由でTwitterサービスにアクセス
- Webサービスのデータを直接参照可能

使用例

```
-- “PostgreSQL” を含むつぶやきの id と 内容の先頭を検索
postgres=# SELECT id, substr(text, 1, 30) AS “text” FROM twitter
postgres=# WHERE q = ‘PostgreSQL’ ORDER BY created_at LIMIT 3;
```

id	text
165256379513307136	Tengo que retomar PostgreSQL ,
165243243322286080	Develop your PostgreSQL Skills
165237194234142720	PostgreSQLコンファレンス

(3 rows)

```
postgres=#
```

LIMITを記述することで
PostgreSQL側で
件数制限が可能

file_fdw

- PostgreSQLが動作するサーバ上のファイルにアクセスするFDW
- contrib/file_fdwとして、PostgreSQLに同梱(9.1から)
- COPYコマンドと同じファイルフォーマットに対応
- 外部ファイルのデータをテーブルにロードせずに随時参照可能

使用例

```
-- LOG レベルのサーバをログを CSV フォーマットのログファイルから検索
postgres=# select log_time, message From postgres_log_current WHERE error_severity = 'LOG';
   log_time          | message
-----|-----
2012-02-03 10:21:26.929+09 | database system was shut down at 2012-02-03 10:21:25 JST
2012-02-03 10:21:27.097+09 | database system is ready to accept connections
2012-02-03 10:21:27.099+09 | autovacuum launcher started
(3 rows)
postgres=#
```

WHERE句を
書くことで
絞り込みが可能

MySQLとRedisのデータを結合して検索

- MySQLにはデータベースのIDと名称を格納

```
mysql> select * From db_name;
```

id	name
1	PostgreSQL
2	MySQL
3	Firebird

- Redisにはデータベースの名称とバージョンを格納

```
redis>get PostgreSQL  
"9.1.2"  
redis>get MySQL  
"5.5.18"  
redis>get Firebird  
"2.5.1"
```

```
postgres=# SELECT m.id, m.name, r.value AS version  
postgres=# FROM redis_db_version r JOIN mysql_db_name m ON m.name = r.key;
```

id	name	version
1	PostgreSQL	9.1.2
2	MySQL	5.5.18
3	Firebird	2.5.1

(3 行)

結合結果をPostgreSQLの結果セットとして利用可能

外部データラッパの概要

- 外部データラッパとは？
- 外部データラッパの実例

外部データアクセスの流れ

- 外部データラッパに関わるオブジェクト
- 外部データへのアクセス

外部データラッパの作成

- 外部データラッパに必要なもの
- 外部データラッパ作成のTips

PostgreSQL 9.2に向けて

- 追加された機能や提案中の機能

外部データラッパに関連するオブジェクトは階層構造 上位のオブジェクトから順に作成していく

外部データラッパ (FOREIGN DATA WRAPPER)

外部データの種類ごとに作成
例)ファイル、MySQL、Redis、etc.

```
CREATE FOREIGN DATA WRAPPER fdw_name  
HANDLER handler_func  
VALIDATOR validator_func  
OPTIONS (key 'value');
```

外部サーバ (SERVER)

外部データの格納場所ごとに作成
例)mysql://host:port/database

```
CREATE SERVER server_name  
FOREIGN DATA WRAPPER fdw_name  
OPTIONS (key 'value');
```

ユーザマッピング (USER MAPPING)

ローカルユーザごとに作成
例)postgresユーザ、public(デフォルト)

```
CREATE USER MAPPING FOR user_name  
SERVER server_name  
OPTIONS (key 'value');
```

外部テーブル (FOREIGN TABLE)

表として見せるかたまりごとに作成
例)特定のCSVファイル、外部DBのテーブル

```
CREATE FOREIGN TABLE relname  
(attname type, ...)  
SERVER server_name  
OPTIONS (key, 'value');
```

8.4

9.1

FOREIGN DATA WRAPPER

- PostgreSQLからFDW依存の処理を呼び出すためのハンドラ関数を指定
- 設定されたFDWオプションを検証するためのバリデータ関数を指定
- 外部データラッパ単位で保持するFDWオプションを指定
- 通常一つだけ必要なので、インストール時に自動的に作成されることも

例

```
postgres=# CREATE FOREIGN DATA WRAPPER mysql_fdw
postgres=# HANDLER mysql_fdw_handler
postgres=# VALIDATOR mysql_fdw_validator;
CREATE FOREIGN DATA WRAPPER
postgres=# ¥dew
```

ハンドラ関数(事前にSQL関数を定義)

バリデータ関数(事前にSQL関数を定義)

```
          List of foreign-data wrappers
  Name | Owner | Handler | Validator
-----+-----+-----+-----
mysql_fdw | postgres | mysql_fdw_handler | mysql_fdw_validator
(1 row)
```

psqlの¥dewコマンドで確認可能

SERVER(FOREIGN SERVER)

- 使用する外部データラッパを指定
- 外部サーバ単位で保持するFDWオプションを指定
- 一つの外部データラッパにつき複数を作成することが可能
- 接続先がRDBMS向けの場合、データベースごとなどに作成

例

```
postgres=# CREATE SERVER asset_db
postgres=# FOREIGN DATA WRAPPER mysql_fdw
postgres=# OPTIONS (address '192.168.1.101', port '3306');
CREATE SERVER
postgres=# \des
```

```
      List of foreign servers
  Name | Owner  | Foreign-data wrapper
-----+-----+-----
 asset_db | postgres | mysql_fdw
(1 row)
```

psqlの\desコマンドで確認可能

USER MAPPING

- 外部データにアクセスするローカルユーザを指定(「public」も指定可)
- 接続先外部サーバを指定
- ユーザマッピングごとに保持するFDWオプションを指定
- FDWの実装によっては作成不要(file_fdwなど)

例

```
postgres=# CREATE USER MAPPING FOR postgres
postgres=# SERVER asset_db
postgres=# OPTIONS (username 'mysql', password 'secret');
CREATE USER MAPPING
postgres=# ¥deu
List of user mappings
 Server | User name
-----+-----
 asset_db | postgres
(1 row)
```

psqlの¥deuコマンドで確認可能

FOREIGN TABLE

- 外部データの構造を表す列定義を指定
- 外部データが存在する外部サーバを指定
- 外部テーブルごとに保持するFDWオプションを指定
- この外部テーブルをSELECTすることで外部データラッパが外部データを取得

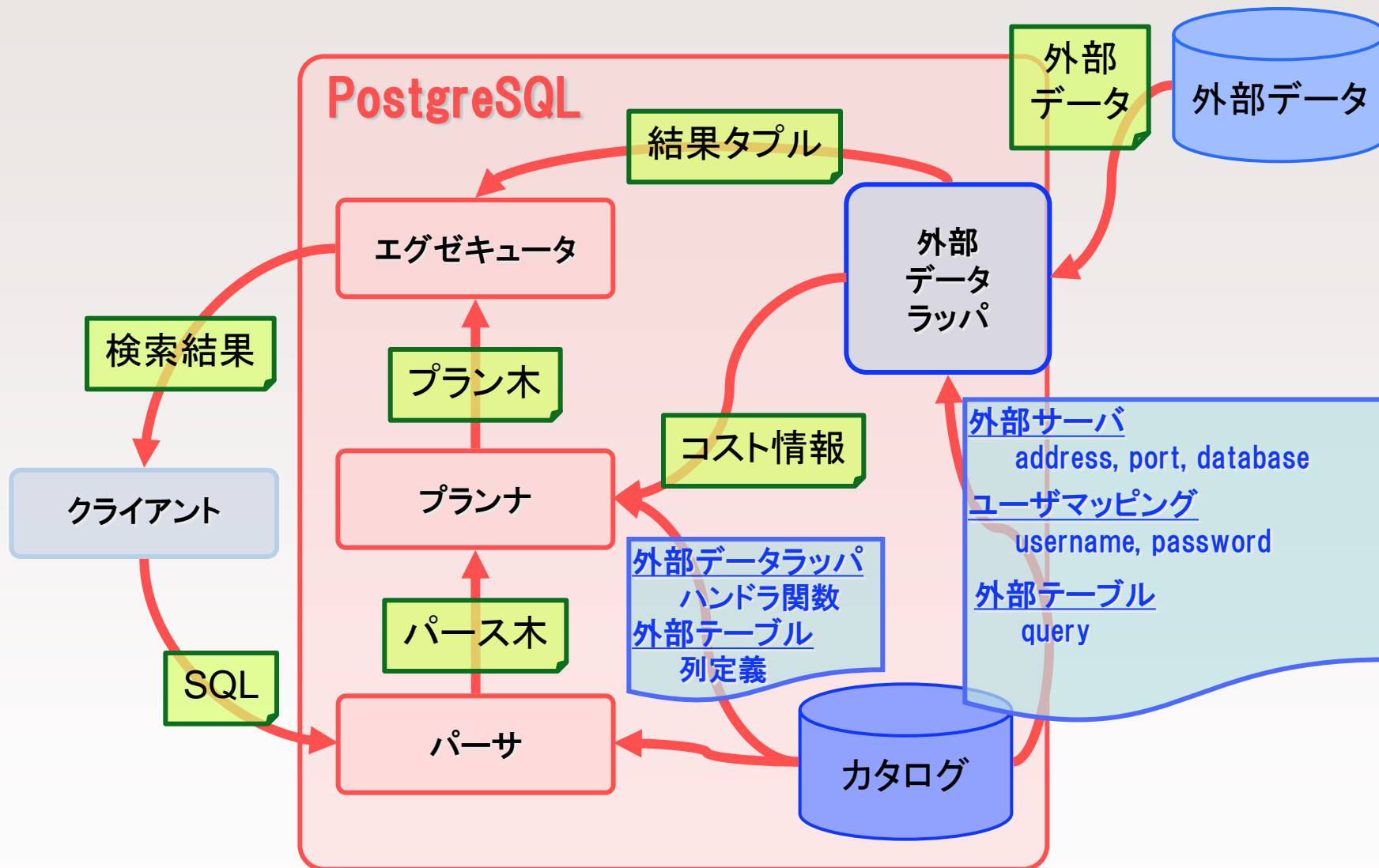
例

```
postgres=# CREATE FOREIGN TABLE assets (  
postgres=#     id int NOT NULL,  
postgres=#     name text NOT NULL,  
postgres=#     buy_date date,  
postgres=#     note text  
postgres=# ) SERVER asset_db  
postgres=# OPTIONS (query 'SELECT * FROM assets');  
CREATE FOREIGN TABLE
```

```
postgres=# \det  
List of foreign tables  
Schema | Table | Server  
-----+-----+-----  
public | assets | asset_db  
(1 row)  
  
postgres=#
```

psqlの¥detコマンドや
¥dコマンドで確認可能

外部データへのアクセス



MySQLとRedisのデータを結合して検索

```
postgres=# EXPLAIN SELECT m.id, m.name, r.value AS version
postgres=# FROM redis_db_version r JOIN mysql_db_name m ON m.name = r.key
postgres=# ORDER BY m.id;
```

QUERY PLAN

```
Sort (cost=26.15..26.16 rows=1 width=68)
  Sort Key: m.id
  -> Nested Loop (cost=20.00..26.14 rows=1 width=68)
    Join Filter: (r.key = m.name)
    -> Foreign Scan on redis_db_version r (cost=10.00..13.00 rows=3 width=64)
        Foreign Redis Database Size: 3
    -> Materialize (cost=10.00..13.02 rows=3 width=36)
        -> Foreign Scan on mysql_db_name m (cost=10.00..13.00 rows=3 width=36)
            Local server startup cost: 10
            MySQL query: SELECT * FROM db_name
```

(10 行)

【検索結果】

id	name	version
1	PostgreSQL	9.1.2
2	MySQL	5.5.18
3	Firebird	2.5.1

(3 行)

外部データラッパの概要

- 外部データラッパとは？
- 外部データラッパの実例

外部データへのアクセス

- 外部データラッパに関わるオブジェクト
- 外部データへのアクセス

外部データラッパの作成

- 外部データラッパに必要なもの
- 外部データラッパ作成のTips

PostgreSQL 9.2に向けて

- 追加された機能や提案中の機能

C言語で外部データにアクセスできれば、 外部データラツパを作れます！

ハンドラ 関数

プランナやエグゼキュータが呼び出すC言語関数のポインタを保持するFdwRoutine構造体を返すSQL関数です。

バリデータ 関数

各種の外部データラツパ関連オブジェクトに設定されたFDWオプションの妥当性を検査するSQL関数です。検査が不要ならば省略可能です。

ほんの少しの 元気と勇気

現時点ではPostgreSQLの内部構造に関する知識がある程度必要です。

ハンドラ関数が必要とするC言語関数

関数名	呼び出しタイミング	必要な処理
PlanForeignScan	プランナが外部テーブル単体のスキヤンのコストを知りたいとき	外部テーブルのスキヤンコストを見積もり、スキヤン実行時に必要な情報と一緒にFdwPlan構造体に格納する。
BeginForeignScan	エグゼキュータでプランを実行し始めるとき	外部テーブルのスキヤンに必要な情報をカタログなどから取得し、以降の関数で使用できるようにFforeignScanStateに格納する。
IterateForeignScan	エグゼキュータが次の行を必要とするとき	外部データから一行分のデータを読み取り、Tupleを生成して返す。スキヤンが末尾に到達した場合はそれを通知する。
ReScanForeignScan	Nested LoopのInner Scanがリセットされるとき(Outer Scanが次のタプルに進んだとき)	外部データからの読み取り位置を先頭にリセットする。
EndForeignScan	エグゼキュータでプラン実行が完了したとき	使用したリソースを解放する。
ExplainForeignScan	外部テーブルを含むSELECT文のEXPLAINコマンドが実行されたとき	外部データラッパ特有のプラン情報(リモートに発行するクエリなど)がある場合は、ExplainPropertyText()などで追加する。

引数

- なし

戻り値

- FdwRoutineオブジェクトのポインタを返す
- SQL関数の戻り値はfdw_handler型(これにより、SQLからは呼べなくなる)

【SQL関数】

```
CREATE FUNCTION pgsqf_fdw_handler ()  
RETURNS fdw_handler AS  
'<ライブラリファイル名>' LANGUAGE C STRICT;
```

【C言語関数】

```
Datum  
pgsqf_fdw_handler (PG_FUNCTION_ARGS)  
{  
    PG_RETURN_POINTER(&fdwroutine);  
}
```

```
static FdwRoutine fdwroutine = {  
    T_FdwRoutine,  
    pgsqfPlanForeignScan,  
    pgsqfExplainForeignScan,  
    pgsqfBeginForeignScan,  
    pgsqfIterateForeignScan,  
    pgsqfReScanForeignScan,  
    pgsqfEndForeignScan,  
};
```

引数

- DDLで指定されたオプションの名前/値ペア(textの配列型)
- DDLで指定されたオブジェクトを管理するカタログ種別(pg_classのOID)

戻り値

- なし(void)
- 全て妥当なオプションであれば、呼び出し元に制御を戻す
- 不正なオプションがあった場合は、内部でereport()などでエラーにする

【SQL関数】

```
CREATE FUNCTION pgsql_fdw_validator (text[], oid)
RETURNS void AS
'<ライブラリファイル名>' LANGUAGE C STRICT;
```

【C言語関数】

```
Datum
pgsql_fdw_validator (PG_FUNCTION_ARGS)
{
    ...
    if (invalid_option_found)
        elog(ERROR, "invalid option");
    ...
}
```

手始めに

- まずは既存の外部データラッパをコピーしていろいろ改造
- 慣れてきたら、独自の外部データにアクセス

C言語関数の実装での注意点

- 関数間での情報の受け渡しはfdw_private(List)で
- ただし、ここで受け渡せる情報はNode構造体を継承したもののみ
- 非Node構造体はC言語文字列化してmakeString()でValueに変換、とか

リソース管理

- 動的メモリの確保は必ずpalloc()で！
- 独自のメモリコンテキストを作成するのもあり
- 外部リソースはResourceOwnerにコールバックを登録してエラー時に解放

multicorn

- Pythonで外部データラッパを実装するためのフレームワーク
- <http://multicorn.org>で開発、PGXNで配布中
- PostgreSQL内部の知識が不要で、Pythonのライブラリが利用可能
- ForeignDataWrapperクラスを継承しexecuteメソッドを書くだけ！

使用例

```
...
class ProcessFdw(ForeignDataWrapper):
    ...

    def execute(self, quals, columns):
        # statgrab already returns its data in a format suitable
        # for Multicorn: a list (iterable) of dicts.
        # `quals` is ignored, PostgreSQL will do the filtering itself.
        return statgrab.sg_get_process_stats()
```

実質この一行だけで、プロセス一覧がSELECT文で取得可能

外部データラッパの概要

- 外部データラッパとは？
- 外部データラッパの実例

外部データアクセスの流れ

- 外部データラッパに関わるオブジェクト
- 外部データへのアクセス

外部データラッパの作成

- 外部データラッパに必要なもの
- 外部データラッパ作成のTips

PostgreSQL 9.2に向けて

- 追加された機能や提案中の機能

FDWオブジェクトの強化

- 外部テーブルの各列にFDWオプションが指定可能
- psqlの¥d*+でFDWオプションをDDLと同じ書式で表示→コピー可能
- 外部データラッパ、外部サーバがCOMMENT ON文に対応
- これらの機能は、9.2での採用が決定しています！

使用例

```
-- 列単位のFDWオプションを設定
postgres=# CREATE FOREIGN TABLE remote_users (
postgres=#     id int NOT NULL OPTIONS (colname 'user_id'),
postgres=#     name text NOT NULL OPTIONS (colname 'user_name'),
postgres=#     ...
postgres=# ) SERVER pgsqldb OPTIONS (relname 'users');
postgres=# ¥det+
```

リモート側の列名などを適切な単位で設定可能

pgsql_fdw

- 外部のPostgreSQLサーバのデータにアクセス
- PostgreSQL本体のcontribモジュールとして提案中
- PostgreSQLからlibpq経由で外部サーバにアクセス
- 一部のWHERE句をリモート側で評価し転送量を削減可能！

使用例

```
postgres=# EXPLAIN SELECT tid, tbalance FROM pgbench_tellers WHERE bid = 1;  
QUERY PLAN
```

```
-----  
Foreign Scan on pgbench_tellers (cost=100.00..137.38 rows=10 width=12)  
Remote SQL: DECLARE pgsql_fdw_cursor_0 SCROLL CURSOR FOR SELECT tid, bid, tbalance, NULL FROM  
public.pgbench_tellers WHERE (bid = 1)  
(2 rows)
```

WHERE句をリモート側で評価し
データ転送量を削減

外部テーブルのANALYZE対応

- 外部テーブルの統計情報をANALYZEコマンドで収集可能に
- PostgreSQL本体の追加機能として提案中
- 統計情報の収集処理は各外部データラッパに委譲
- 検索条件やJOIN条件に関するコスト見積もりの精度が向上！

使用例

```
postgres=# EXPLAIN ANALYZE SELECT tid, tbalance FROM pgbench_tellers WHERE bid = 1;  
QUERY PLAN
```

```
-----  
Foreign Scan on pgbench_tellers (cost=100.00..137.96 rows=10 width=12) (actual time=46.363..46.740  
rows=10 loops=1)  
  Filter: (bid = 1)  
  Rows Removed by Filter: 20  
  Remote SQL: DECLARE postgres_fdw_cursor_2 SCROLL CURSOR FOR SELECT tid, bid, tbalance, ...  
Total runtime: 48.167 ms  
(5 rows)
```

見積もり精度が向上

外部データラッパに関する情報は こんなところに

PostgreSQL Wiki

http://wiki.postgresql.org/wiki/Foreign_data_wrappers

開発中のものも含めて、様々な外部データラッパがリストアップされ、配布場所やソースリポジトリなどがリンクされています。

PGXN

<http://pgxn.org/>

本セッションで紹介した外部データラッパは、主にこのサイトで配布されています。PostgreSQLのEXTENSIONをシェルコマンドで管理するツールもあります。